

## ヒラメ種苗生産～生徒のいない放流～

3月からの臨時休業で、静まり返った実習場。でもヒラメはすくすく大きくなりました。そして4月21日、孵化97日目、全長約5cmまで育ったヒラメたち。これ以上大きくなったら、実習場で育てきれないこともあり、資源増殖の実習内を行う放流を職員だけで実施しました。とはいえ、一番びっくりしているのはヒラメたちで放流すると砂へ潜ろうとしたり、放流場所から動かずじっとしていたり……。一生懸命状況を把握しようとしているようでした。そんなヒラメの様子をしばし観察……。病気になることなく、大きく育ててくれることを願いながらその場を跡にしました。

今期は生徒のいないさみしい放流となりましたが、ヒラメたちは大海原へと旅立ち、1月、2月と生徒とともに実施したヒラメ種苗生産は終了です。



写真1. 放流直前のヒラメたち。普段と違う状況に落ち着かない様子。



写真2. 放流するときは、網で尾数を数えながらバケツへ移します。



写真3. 放流場所に到着です。バケツからそっと海へ放します。



写真4. ヒラメは慎重派。放流してもすぐに遠くへ行きません。先生「大きくなって戻ってきてね～」  
ヒラメ「えっ?! ちょっと待って。ここはドコ？」